



— 建設的な意見は出ましたか。

藤田名誉院長 私たちでは考えのつかない予想外に有意義で、建設的な意見が数多くございまして、全職員が真剣に名古屋記念病院のことを考えてくれているのだということを実感しました。

— いろんなセンターを開設しましたね。

藤田名誉院長 そうですね、消化器病センター、がん相談支援センターなどを立ち上げましたが、こうしたセンターづくりも職員の前向きな考えから生まれたものでした。

— 愛知県がん診療拠点病院に指定されていますね。

藤田名誉院長 このがん診療拠点病院は愛知県知事ががん診療の充実を目的にがん専門病院を指定するもので2010年に指定を受けました。また、地域のがん医療向上のため、がん登録制度の整備、外来化学療法室の設置、がん治療に対する患者様の不安や医療費、介護の心配などがんに関わることすべてのことについて相談に応じるがん相談支援センターの設置などを行っています。

— 10年間の院長在任中精力的に活躍されましたが、頭を痛めたことはありませんでしたか。

藤田名誉院長 院内意識改革は職員の前向きな協力でそれなりの成果を上げることができ感謝しています。頭を痛めたことですか。そうですね、医師の確保には大変苦労をしました。医師がいなければ患者さんや地域に十分な医療を提供することはできませんから。

— 医師不足の主な原因は何ですか。

藤田名誉院長 院内の医師の開業による退

職や、大学医学部から派遣されている医師の異動などです。

— 医師確保にどんな対応を取りましたか。

藤田名誉院長 派遣先の大学の教授や医局に足を運び派遣をお願いしたり、自薦、他薦の形で優秀な医師の確保に奔走しました。幸い、名古屋記念病院の評価は医師の間でも高かったので(医師の確保は)なんとかなりました。

— 長谷川院長はいつから院長になられましたか。

長谷川院長 2014年4月から院長に就任しました。

藤田名誉院長 長谷川院長は1996年に当院に小児科部長として赴任されましたが、当時は小児科スタッフは長谷川先生一人で、精力的に小児医療に取り組んでいただきました。中でもいつでも緊急時に対応できるように小児救急体制を作り、救急診療に取り組み、数多くの小児の患者さんを受け入れるなど、今では名古屋記念病院の小児科は地域にとっても名古屋市の小児救急医療体制にとっても無くてはならない存在となっています。これも長谷川院長の努力のたまものと感謝しています。

長谷川院長 藤田先生が院長時代に医療の質の確保、地域医療への貢献などという形でレールを敷いていただいていたので後を継いだ私としては大変助かっています。

— 稲垣先生が院長の時代と今では医療環境は違うのではないですか。

稲垣名誉院長 今考えると私が院長をしていた時代は医療費削減の動きは始まっていましたが、少なくとも現在よりは制約

が少なく、余裕がまだあったと思います。

— 名古屋記念病院は医療環境の変化にうまく対応しているのではないですか。例えば愛知県がん診療拠点病院の指定や社会医療法人などの指定、認定を受けていますね。

長谷川院長 名古屋記念病院はがんと免疫を中心とした総合病院を目指して開院しましたが、現在は患者さんの要望や地域の多様なニーズなど社会情勢や医療環境の変化に対応することが求められています。その一つに急性期医療を提供する病院として全職員一致した協力のもと24時間365日体制で救急医療に意欲的に取り組んでいます。また、災害拠点病院・救急指定病院(2007年)、地域医療支援病院(2009年)、そして社会医療法人(2011年)とそれぞれ指定・認定を受けています。

— これからの名古屋記念病院の取り組むべき姿を話してください。

稲垣名誉院長 知識や技量を高める狭い意味での医療の質と、名古屋記念病院が掲げるホスピタリティの両方を合わせた広い意味での医療の質の向上と、中規模病院ならではの特性と民間病院の柔軟性を十分に生かした、チーム医療を軸とした質の高い医療の提供を目指してほしいですね。

藤田名誉院長 名古屋記念病院には、医療に対して意欲的で、前向きな優秀な人材がたくさんいますので、この優秀な人材を生かし、かつ英知を集め、現在それから将来の医療に貢献していただきたいです。

長谷川院長 今日は院長を務められたお二人の先生方に貴重なお話をお伺いすることができ私にとって大変有意義でした。まさに温故知新ですね。これからも職員一同知恵を出し合ってがん医療、救急医療をはじめ、さらなる医療の質の向上を計り、地域の医療・福祉機関との連携を深め、より一層患者さんや地域から愛され、信頼される名古屋記念病院になれるよう取り組んでいきたいと思っています。

HOSPY information

イラスト / はせがわゆうじ



WHAT'S NEW ホスピーの心を掲げて30年!! これからもよろしくお願ひします。

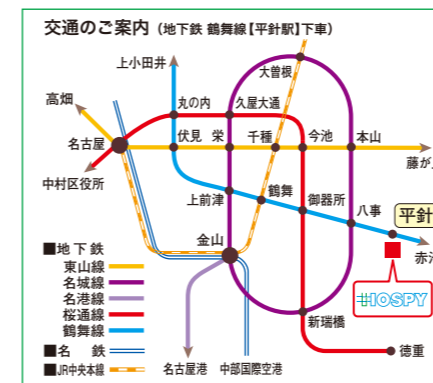
名古屋記念病院は2015年4月で創立30周年を迎えました。今回のHOSPYInformationは30周年特集号として長谷川真司院長と歴代院長(稲垣治郎名誉院長・藤田民夫名誉院長)3名の対談を企画しました。今後も地域の医療機関との連携を深め、患者さんや地域の皆様から愛される名古屋記念病院となるように「ホスピー」をあいことばに職員一同努力していきます。

ホスピー(HOSPY)とは…

もてなしのHOSPITALITYとしあわせのHAPPYをあわせ造語です。一人ひとりの患者さんを温かい気持ちでお迎えし、患者さんの気持ちになって心の通う治療をしたい。そして一日も早く健康になって欲しい。ホスピーには、そんな気持ちが込められています。



1985年 開院当初の名古屋記念病院



診療科目

内科、血液・化学療法内科、化学療法内科、疼痛緩和内科、呼吸器内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、心臓内科、消化器内科、内視鏡内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、脂質代謝・血管内科、神経内科、心療内科、※総合内科、感染症内科、※膠原病・リウマチ内科、小児科(感染症、アレルギー疾患、循環器、神経、内分泌、血液、腫瘍)、外科、消化器外科、肛門外科、胸部外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、泌尿器科、腎臓外科、整形外科、リウマチ科、産婦人科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、脳神経外科、麻酔科、病理診断科、救急科、神経精神科、形成外科、アレルギー科、リハビリテーション科(※は院内のみの診療科)

関連施設

新生会第一病院・東海クリニック・金山クリニック・鳴海クリニック・東海知多クリニック・十全クリニック・平針記念クリニック・社会福祉法人新生会付属診療所・身体障害者療護施設「あしたの丘」・訪問看護ステーションサルビア・ホスピー居宅介護支援事業所・新生会舎デイサービスセンター他

Tel.052-804-1111 〒468-8520 名古屋市天白区平針四丁目305番地

名古屋記念病院のホームページをご覧ください。最新情報をお届けしています。http://www.hospy.or.jp/kinen/